



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月6日

上場会社名 株式会社アドバンテッジリスクマネジメント 上場取引所 東
 コード番号 8769 URL <http://www.armg.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鳥越慎二
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 栗原直彦 TEL 03-5794-3800
 四半期報告書提出予定日 2019年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,448	8.4	342	15.3	343	16.0	225	17.8
2019年3月期第2四半期	2,259	6.4	297	2.9	296	2.4	191	4.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 225百万円 (17.8%) 2019年3月期第2四半期 191百万円 (4.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	13.30	13.28
2019年3月期第2四半期	11.18	11.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,363	2,956	53.8
2019年3月期	5,014	2,890	56.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 2,883百万円 2019年3月期 2,823百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,530	12.9	980	5.6	980	5.8	650	5.7	38.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	17,238,600株	2019年3月期	17,234,600株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	300,530株	2019年3月期	300,530株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	16,935,830株	2019年3月期2Q	17,107,215株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものです。実際の業績は、今後の様々な要因により、予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定等については、[添付資料] P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、現在、2018年8月に策定した「中期経営計画2020」（2018年度～2020年度）に基づき、新規顧客の開拓や既存顧客との取引深耕に取り組むとともに、既存事業で培ってきた強みを活かして周辺領域へのビジネス拡大を推進しております。メンタリティマネジメント事業においては、健康経営・人材開発支援事業のプラットフォームを確立し、また、就業障がい者支援事業においては、仕事と疾病・育児・介護等との両立支援事業のプラットフォームを確立することにより、企業の生産性を最大化するとともに人々が安心して働ける環境を整備することを経営ビジョンとした事業活動を展開しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、メンタリティマネジメント事業が伸長し、増収となりました。

一方、費用面につきましては、顧客拡大に伴いオペレーション関連コストが増加したほか、各事業の成長戦略を見据えた諸施策を実施した結果、経費負担が増加しましたが、売上高費用比率は低下いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,448百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益は342百万円（前年同期比15.3%増）、経常利益は343百万円（前年同期比16.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は225百万円（前年同期比17.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下の通りです。

(メンタリティマネジメント事業)

当事業におきましては、中期経営計画の目標達成に向けた活動を推進したほか、ミドルマーケットをターゲットとした新規顧客開拓の専任部署設置等、営業体制の再編を実施いたしました。中期経営計画の重点課題である健康経営・人材開発支援事業のプラットフォーム確立につきましては、ストレスチェック結果に基づく職場環境改善や組織活性化のためのソリューションラインアップの拡充を図り、企業の健康経営・人材開発を支援する事業領域でのビジネス拡大に取り組みました。また、「働き方改革」関連法に基づく産業保健機能強化のニーズ増大を見据え、企業の条件に合った保健師を紹介する「産業保健師サービス」の全面リニューアルによる産業保健領域に係る支援強化を実施いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、法制化対応商品「アドバンテッジタフネスシリーズ」に加え、各種ソリューション商品や産業医紹介サービスの売上伸長により増収となりました。費用面につきましては、サービス提供先及び利用者数増加に伴うオペレーション関連コストが増加したことに加え、中期経営計画を踏まえた新たな商品及びサービス開発体制の強化や、ストレスチェック後のソリューション商品提供に注力した営業活動への積極的な人的資源の投下を実施した結果、経費負担が増加いたしました。

これらの結果、メンタリティマネジメント事業の売上高は1,844百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益は430百万円（前年同期比18.4%増）となりました。

(就業障がい者支援事業)

当事業におきましては、GLTD（Group Long Term Disability：団体長期障害所得補償保険）の新規顧客獲得を推進するとともに、中期経営計画の重点課題である仕事と疾病・育児・介護等との両立支援事業のプラットフォーム確立に向けた活動を展開いたしました。新規顧客獲得につきましては、特に、新たな連携先との関係構築および既存連携先との関係深化に取り組みました。また、両立支援事業のプラットフォーム確立に向け、IT活用による既存サービス高度化の基盤となるシステム構築や、課題を抱えながら働く人の就労を支える環境作りサービスの営業及び企画開発機能の強化を実施いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、既存契約の更改率が若干下振れたことによる減収を新規契約獲得がカバーいたしました。費用面につきましては、今後の事業展開を見据えた要員の配置を先行的に実施した結果、人件費及び関連諸費用が増加いたしました。

これらの結果、就業障がい者支援事業の売上高は444百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は112百万円（前年同期比35.6%減）となりました。

(リスクファイナンス事業)

主に企業等に勤務する個人を対象として保険商品を販売している当事業におきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は前期比で若干の減収となりました。費用面につきましては、効率的なオペレーション業務体制の維持によりコスト抑制に努めました。

これらの結果、リスクファイナンス事業の売上高は160百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は127百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末より348百万円増加し、5,363百万円となりました。流動資産は386百万円増加し、4,285百万円となりました。これは主に、当期間の経営成績の結果により現金及び預金が増加したことによるものです。固定資産は37百万円減少し、1,078百万円となりました。これは主に無形固定資産が償却により減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は前連結会計年度末より282百万円増加し、2,407百万円となりました。流動負債は282百万円増加し、2,337百万円となりました。これは主に、前受収益が増加したことによるものです。固定負債は特段の変更は無く、ほぼ横ばいとなりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末より66百万円増加し、2,956百万円となりました。これは主に、当期間の経営成績の結果により利益剰余金が増加したことによるものです。

なお、保険会社に帰属する保険料で当社の口座に残高のあるものについては、保険代理店勘定及び保険料預り金として対照勘定処理を行っております。これらを除いた場合の自己資本比率は58.0%となります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前第2四半期連結会計期間末より700百万円増加し、3,125百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は791百万円（前年同期比1.8%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が343百万円となったことに加えて、前受収益の増加額が530百万円となったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は124百万円（前年同期比33.3%増）となりました。これは主に、無形固定資産の取得に伴う支出が66百万円になったことに加えて、投資有価証券の取得に伴う支出が50百万円になったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は167百万円（前年同期比64.0%減）となりました。これは主に、配当金の支払が169百万円生じたことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2019年5月14日に開示した業績予想に変更はありません。

なお、1株当たり当期純利益につきましては、本資料発表日現在予測可能な株式数の増減を反映させた期中平均株式数を元に算出しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,625,776	3,125,584
売掛金	704,789	631,219
保険代理店勘定	447,463	389,697
その他	120,940	138,939
流動資産合計	3,898,969	4,285,440
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	286,692	287,136
減価償却累計額	△103,529	△113,509
建物附属設備(純額)	183,163	173,627
工具、器具及び備品	204,258	210,364
減価償却累計額	△143,191	△155,336
工具、器具及び備品(純額)	61,066	55,027
有形固定資産合計	244,230	228,654
無形固定資産		
のれん	198,714	171,311
ソフトウェア	356,456	330,104
ソフトウェア仮勘定	55,972	55,525
その他	4,002	2,225
無形固定資産合計	615,146	559,167
投資その他の資産		
投資有価証券	2,806	52,806
敷金及び保証金	152,294	152,668
繰延税金資産	89,682	74,695
その他	11,790	10,466
投資その他の資産合計	256,574	290,637
固定資産合計	1,115,951	1,078,460
資産合計	5,014,921	5,363,900

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	170,000	170,000
未払法人税等	217,072	120,786
前受収益	686,806	1,217,193
保険料預り金	447,463	389,697
賞与引当金	178,123	159,734
その他	356,180	280,351
流動負債合計	2,055,647	2,337,763
固定負債		
資産除去債務	69,083	69,273
固定負債合計	69,083	69,273
負債合計	2,124,731	2,407,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	347,245	348,887
資本剰余金	298,835	300,477
利益剰余金	2,493,802	2,549,769
自己株式	△315,896	△315,896
株主資本合計	2,823,986	2,883,237
新株予約権	66,203	73,625
純資産合計	2,890,190	2,956,863
負債純資産合計	5,014,921	5,363,900

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	2,259,253	2,448,882
売上原価	477,273	535,439
売上総利益	1,781,979	1,913,442
販売費及び一般管理費	1,484,382	1,570,451
営業利益	297,597	342,991
営業外収益		
受取配当金	75	90
未払配当金除斥益	153	114
事業譲渡益	—	755
その他	51	164
営業外収益合計	280	1,124
営業外費用		
支払利息	475	480
支払手数料	1,251	—
営業外費用合計	1,727	480
経常利益	296,150	343,634
税金等調整前四半期純利益	296,150	343,634
法人税、住民税及び事業税	95,682	103,340
法人税等調整額	9,220	14,986
法人税等合計	104,903	118,327
四半期純利益	191,247	225,307
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	191,247	225,307

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	191,247	225,307
四半期包括利益	191,247	225,307
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191,247	225,307
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	296,150	343,634
減価償却費	124,285	111,260
のれん償却額	27,402	27,402
受取利息及び受取配当金	△75	△91
支払手数料	1,251	—
支払利息	475	480
事業譲渡損益(△は益)	—	△755
株式報酬費用	12,782	8,521
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,722	△18,389
売上債権の増減額(△は増加)	67,773	73,570
前受収益の増減額(△は減少)	473,589	530,386
その他の資産の増減額(△は増加)	△19,364	△16,656
その他の負債の増減額(△は減少)	△9,901	△50,516
小計	958,647	1,008,849
利息及び配当金の受取額	75	91
利息の支払額	△475	△480
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△152,493	△217,019
営業活動によるキャッシュ・フロー	805,754	791,440
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△61,240	△8,508
投資有価証券の取得による支出	—	△50,000
無形固定資産の取得による支出	△38,488	△66,233
事業譲渡による収入	—	755
敷金及び保証金の差入による支出	△321	△644
敷金及び保証金の回収による収入	6,748	271
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93,301	△124,361
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	6,006	2,184
自己株式の取得による支出	△316,950	—
配当金の支払額	△154,264	△169,455
財務活動によるキャッシュ・フロー	△465,209	△167,271
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	247,242	499,807
現金及び現金同等物の期首残高	2,178,052	2,625,776
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,425,295	3,125,584

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	メンタリティ マネジメント事業	就業障がい者 支援事業	リスクファイナン シング事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,651,865	442,610	164,778	2,259,253
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,651,865	442,610	164,778	2,259,253
セグメント利益	363,922	174,525	135,215	673,663

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	673,663
全社費用(注)	△376,066
四半期連結損益計算書の営業利益	297,597

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	メンタリティ マネジメント事業	就業障がい者 支援事業	リスクファイナン シング事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,844,200	444,218	160,463	2,448,882
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,844,200	444,218	160,463	2,448,882
セグメント利益	430,845	112,388	127,938	671,172

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	671,172
全社費用(注)	△328,180
四半期連結損益計算書の営業利益	342,991

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。